



秘蔵書戦メモ



9条改憲を許さない

市民のつどい開催される

市内で平和運動を進めている、「網走9条の会」「平和の願いを網走から」ストップ！戦争法網走の会」の呼びかけで、初めて「つどい」が開催されました。



熱心に話し合う市民

DVD『9条改憲って何』を視聴し、呼びかけ人の「平和の願いを網走から」の鈴木孝さんから「自民党の改憲をめぐる情勢」「憲法審査会、国民投票の問題点」などの報告があり討論に入りました。

13日（金）午後6時30分、エコーセンターに「憲法9条は守りたい」と市民や労働組合員、組合OBなどおよそ40人が集まりました。『つどい』の呼びかけ人を代表して「ストップ！戦争法網走の会」代表の山本玲子さんは挨拶で「公文書改ざん、加計問題、日報隠しなど『安倍政権ここに極まれり』と言う状況ですが、安倍さんは9条改憲を諦めていません。『改憲阻止の大きなうねりをつくるため、いっしょに行動していただけることを願います。』と挨拶しました。

討論では「自民党の改憲案には反対と断りながら、対案を持つ必要があるのでは」「社会的弱者をたたく社会にした安倍政権は許せない」「国民投票が行われたら、心もとなない状況だ、心を一つにして9条改憲を許さない一点でまとまる必要があるだ」「自衛隊に対する様々な意見があるが、改憲発議をさせないために、3000万署名に力を合わせるべきではないか」「新日本婦人の会では3000万署名の目標を10000筆に決め、いま500筆に到達しました。署名やデモなど色々なところで国民の声を知らせることが必要ではないか」。など多彩な意見が出されました。

討論の最後に「平和の願いを網走から」の鈴木孝さんは「皆さんの意見では9条改憲NOでは一致しているのではないか。今後は準備会を経て、5月中に『9条改憲を許さない網走市民の会（仮称）』をつくる方向でみなさん頑張りましょう」と発言すると拍手で応えていました。「つどい」には日本共産党の松浦敏司市議、立憲民主党の川原田英世市議も参加し発言していました。

安倍政権の失態が連日のように報道されていいますが、どうしてこのようになるのでしょうか。昨年は防衛省の南スーダン日報の隠ぺい。イラクへ派遣していた日報もないと昨年の国会で言い切っていた。ところが、その直後に発見されていた。しかし、防衛大臣に1年以上も報告しなかった（文民統制が機能していない）。16日に公表したイラク日報は、435日分（2004年5月06年）に作成された1万4929ページ。こ

のうち2006年1月22日付の日報では、前日21日にサマワで治安維持活動を行っていた英軍車両に対して、反政府勢力の一つであるサドル派が射撃を開始し、「戦闘が拡大、イラク警察及びイラク陸軍が治安回復のために介入」「継続の可能性あり」と書かれていた。こんな戦闘状態の中で自衛隊が活動していたのには防衛大臣も当時の小泉首相も知らなかった。その後も政府は知らないとしたら、恐ろしい政治が行われている...。

街・スポットライト

「ストップ！戦争法網走の会」は、17日、18日、市内の高校生に『安倍9条改憲NO』のリーフ配布を行いました。



「憲法9条をかえるなっていうリーフです。」と手渡す会員

安倍政権は退陣に

「国会かけある記」二〇一八年四月十六日



岩淵友参議院議員

発推進政策がこの問題の大きさにあります。原発再稼働のため、福島県民の怒りはわったことしようとする安倍政権に対して、福島県民の怒りはあります。直近の県民世論調査では、安倍政権の支持率は24.4%になりました。いまやこの怒りは多くの国民のものとなり、全国の世論調査でも支持率は20%台に落ち込んでいます。

安倍政権が国政を私物化し、悪政を強行しようとするも、今回のような圧力問題、隠ぺい、改ざん、ねつ造、セクハラなど、問題が次々と吹き出しています。憲法を壊し、民主主義を壊す、安倍政権は総辞職しかありません。市民と野党の共同の力を広げて、安倍政権を退陣に追い込みましょう。

「経済産業省の「エネルギー教育モデル校」制度に基づいて、町立ニセコ高校での公開講座に因って起きた「教育への不当介入」事件。北海道経済産業局の幹部が講演直前に講師を訪ね、東京電力福島第一原発事故の水素爆発時の写真や原発コストの資料について、「特定の見方」「印象操作」だと変更を求めたというものです。文部科学省による前川前文部科学事務次官の授業に不当に介入したことに基づく大問題です。



「安倍政権を退陣させよう」のプラカードを手にした市民